

区議会だより

No 1

足立区議会事務局
☎(882) 1111



新しい議場で行なわれた
42年第1回定例会

発刊にあたって



足立区議会議長
阿出川 信孝

区議会だよりの発刊にあたり一言ごあいさつ申し上げますとともに、日ごろ、議会活動に対して特段のご理解を賜わり心から謝意を表します。

わたくしたちは、区民の皆さんの代表者として区政の一端をになうにあたりまして、先ず考えましたことは、いかにして区議会の状況を知っていただき、そして身近かなものにするかということでありました。

そこで、今日まで種々検討を重ねましたところ、本日、区議会だより第一号の発刊を見ただけであります。内容的に十分意をつくし得ない点もあろうかと存じますが、今後この小紙が多くのかたがたのご意見、ご要望をかてとして大きく成長し区民の皆さんと区議会を結ぶ重要なたづなとして立派な役割りを果たすことを願っております。

豊かで、明るく住みよい町造りは、区議会、執行機関、区民の皆さんの三者が一体となつてはじめて実現されるものと思ひます。わたくしたちは、この理想実現のため微力ながら努力しているところであります。

今後とも区民の皆様のご支援、ご協力をお願いいたしましたして発刊のごあいさつといたします。

新年度予算案 賛成多数で可決

42年度第1回区議会定例会

昭和42年第1回区議会定例会は3月10日から新しい議場で開かれ、区政に関する各党の質問、42年度一般会計予算、特別会計予算や行政財産使用料条例など26議案を原案どおり可決し、さらに請願・陳情を議決して閉会しました。

おもな議案は次のとおりです。

42年度一般会計予算

本予算案の編成方針は生活環境の整備、青少年の健全育成、社会福祉の充実の三本の柱を重点施策としたもので、審議は42年度一般会計補正予算(一号)、42年度国保特別会計予算を含め予算特別委員会を設置して慎重に

行い、本会議で原案のとおり可決されました。

42年度一般会計補正予算(第一号) 小中学校の校舎増改築16教室、屋内体操場の建設5校分ほかを追加計上したものです。

42年度国保特別会計予算 本区の国保事業を運営するための経費として当初予算に16億648万5千円を計上したものです。

41年度一般会計補正予算(第六・七号) 公共施設の建設用地・千住桜木町地内の公園用地購入費や生活扶助に要する経費など合わせて9千111万8千円。これで41年度の一般会計予算総額は84

億6千181万6千円となりました。

行政財産使用料条例

区の行政財産を使用した場合の使用料額、徴収方法等を定めた条例です。

国保条例の一部改正

本年一月一日から退職手当に対する住民税額の課税方法が分離課税という制度に変わりましたので、保険料の所得割額の算定方式も四月一日から退職所得にかかる住民税額については、保険料の所得割額の算定対象から除くことになりました。

町区域の新設・一部変更

大谷田町の葛西用水以東、バス道路以北の地域が本年七月一日から住居表示の実施によって大谷田一、二丁目と新しい町名になる予定です。

社会福祉協議会に対する補助に関する条例

協議会の行なう事業に補助金を交付する必要な事項を定めたものです。

区道の認定

△竹の塚駅前住宅公団施行区画整理事業区域内(延長2万3千97メートル)

△小台二丁目六九五と七二一、七一四と七二三(延長21メートル)

△江北椿土地区画整理組合施行区域内(延長3千302メートル)

△伊興町大境内7路線(延長22メートル)

△西新井町一二二七と興野町二六二(延長53メートル)

代表質問

○自 民 党

庁舎敷地訴訟問題について

新庁舎建設敷地の一部が系争中で、区民の関心を集めている。その経過をききたい。

▲最高裁に上告中であり、区の財産権確保のため前地主の不動産を仮り差し押さえる一方、和解も進めている。公有地不法占拠問題について

いまだ目だつた解決が見られないが、違法な占拠は、法的手段で撤去すべきである。既に解決した件数は、

▲119件中82件解決したが、今後社会情勢の変化に従い随時ふえる傾向にあるが、法的手段で解決に努力したい。

次ページへ続く

42年度一般会計予算

(補正1号を含む)

歳 入

科 目	金 額
	千円
特別区税	2,292,771
特別区交付金	2,584,162
分担金及び負担金	37,449
使用料及び手数料	49,745
国庫支出金	1,900,920
都支出金	381,320
財産収入	8,046
寄付金	1
繰越金	2,255
諸収入	422,584
特別区債	45,000
歳入合計	7,724,253

歳 出

科 目	金 額
	千円
会議費	114,479
総務費	695,356
民生費	3,065,659
産業経費	124,929
土木費	1,286,363
教育費	2,395,589
公債費	10,178
支出金	1,700
予備費	30,000
歳出合計	7,724,253

前ページより続く

私道助成の問題について

私道に区は助成しているが、さらに助成種目をふやす考えがあるか。通学路と私道助成との関連はどうか。

▲昨年からの助成しているが財源を見ながらふやしたい。一年めなので不合理な点は規程の改正をしていきたい。PTAの私費負担問題について

都は公費負担の標準を作り財源処置をする考えだが、区はさらに上ずみして軽減をはかる考えがあるか。

青少年問題について

青少年の育成問題は広範囲にわたるが、これを総合的に企画調整するため組織の拡充をはかる考えがあるか。

総合的に育成するため、青少年係を課に昇格することも考えている。

▲公明党

区営住宅建設問題について

低所得者が多く、住宅に困窮した世帯の多い区としては、住宅の建設が急務と考えるがどうか。

▲都が国の補助を受けて建設することになっており、区の財政事情から独自で建設することは不可能である。

総合グラウンド建設問題について

健全な体育の発展をはかるため、区内に実施している区画整理地内に総合グラウンドを造る考えがあるか。

▲計画は43年以降3年継続事業で考えており、今は区画整理地内の公園を運動場にするように都に要請している。土盛り資金問題について

都営住宅の周囲が低く出水するが対策として土盛り資金の貸し付けをする考えがあるか。当面の排水はどうか。

▲財政事情から困難である。地域排水は善処していきたい。

中小企業融資問題について

倒産の原因に資金繰りの問題があるが、一助として現行の融資額、貸付期間、利率を改善する考えがあるか。



岡崎区長に答える質問

▲金融機関と話し合っているが、貸付期間の延長、利率の点でお折衝し、合意点に努力している。

学校の放火対策問題について

卒業期は生徒の動揺しやすい時期で放火事件も過去にあったが、これらの放火対策をききたい。

▲就職、受験、低知能者等の生活、就労指導を個別に徹底し、不祥事を起こさないよう指導をしたい。

PTAの私費負担問題について

私費負担軽減をはかってきたが、会費は増額の傾向にある。後援団体的考えを改めさせる指導をしているか。

▲公費・私費負担区分が明確でなく、使い方にも理解が足らなかったが、今後学校運営費は公費でまかないたい。

就学児の交通対策問題について

事故絶滅に努力した結果児童の事故は減少しているが、なお新入生の事故絶滅に緊急対策を講ずべきであるがどうか。

▲交通施設の整備充実、新入生の交通教育と、児童を守るため、父兄の注意を喚起する策を講じていきたい。

交通傷害共済制度問題について

交通事故に苦しむ区民に潤いを与えるため、区独自でこの制度化をはかる考えがあるか。

▲各都市で機運が高まっており必要と考えるので、23区一体で実施する方向で考えていきたい。

交通保護司制度問題について

交通事故被害者と、その家庭状況は不幸で、この人たちの生活、治療を指導する制度を実施する考えがあるか。

▲全国的問題なので、法律で設置義務を負わせ、権限ある指導をするよう関係方面に要望していきたい。

社会党

五か年計画進ちょく問題について

初年度計画の実施状況と、二年次計画実施に伴う財源確保と、その構想を

ききたい。

▲繰越明許分を除き、10割完成の見込みで、二年次計画の財源は、財調の折衝の中で獲得に努力したい。

予算編成方針問題について

昨年の予算より消極的編成で、その意欲が感じられないが、区議会改選後の意見を織り込んで補正する考えか。

▲本年度は財調が決定しないため計画事業の財源も確定せず、また議会改選期なので、財調決定後補正したい。

区画整理事業問題について

町造りを促進するため未認可組合の解消を都に要請し、公共用地の確保と、不法建築の解消策を講ぜられたい。

▲認可が遅れると不法建築等により町造りも後退すると考えられるので、都に早く認可するよう折衝している。

西新井大師線廃止問題について

環状七号線の建設に際し、大師線廃止問題が話し合われているが、区民の立場から反対する考えがあるか。

▲現在、都と東武で協議中で、結論は出てないが廃止には賛成しかねるので関係方面に反対の要望をしたい。

共産党

自衛隊適齢者名簿問題について

防衛庁、自治省が直接地方公共団体に名簿の作成を極秘で進めていることが、秋田、岡山県で発見された。区政の中でも行なわれているか。

▲区では、自衛隊適齢者名簿を提出した事実はない。



請願・陳情

3月20日の第一回区議会定例会で各委員会の審査を終了した請願・陳情38件が次のとおり議決されました。

- 政府計画の低温流通体系の請願―不採択
- 弘道一丁目都住内児童遊園地設置の請願―採択

大師線廃止反対の要望書を提出

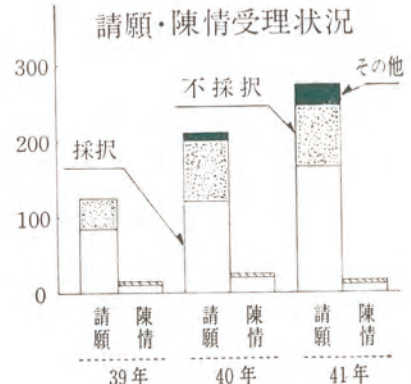
区長、議長の名で、都知事と都議会議員、東武鉄道あてに大師線廃止反対の要望書を提出しました。

要望書(要旨)

現在、都内の交通緩和策として都市計画街路の建設が行なわれ、この計画の一環として本区にも東西を走る重要な環状七号線の建設工事が進められています。このたび、同建設工事に伴い大師線を廃止するというのを聞きましたが、これは住民にとって大きな脅威となっています。

当地域は公共施設が多く、また公営住宅等の建設も進み発展が予想されています。このときあたり、大師線が廃止されますことは、区発展の障害となりますので、廃止に反対します。

- 区立島根保育園名称変更の請願―採択
- 結核入院患者冬期見舞金等支給の請願(四件)―不採択
- 中央本町一丁目二〇番三号先区道付け替え変更の請願―採択
- 東武鉄道敷地内区道路線の廃止払い下げの請願―採択
- 木工家具技能者養成所設置の請願―採択
- 家具木工業者に対する特別融資の請願―採択
- 神明町三五番地先用水路暗きよ化、柵きよ化の請願―採択
- 梅島第二小校舎改築の請願―採択
- 東武大師線廃止反対の請願―採択
- 児童保育所新設の請願―不採択
- 児童保育施設の増設、充実の請願―不採択
- 厚生政策改善の請願―不採択
- 綾瀬四丁目四二番地先区道認定の請願―採択
- 足立三丁目一七番七号先区道認定の請願―採択
- 中央本町一丁目八四番地先区道認定の請願―採択
- 島根町二八番地一地区道認定の請願―採択
- 梅島三丁目二六五〇番一地区道認定の請願―採択
- 新田二丁目一九番先区道認定の請願―採択
- 失対労務者待遇改善の請願―不採択
- 梅島陸橋中間横断道路新設の請願―採択
- 本木町五丁目三七九五番地先道路舗装の請願―採択
- 千住五丁目九七番地先区道側溝設置の請願―採択
- 栗原町四三三五番地先区道U字溝設置の請願―採択
- 大谷田町四八四番地先水路暗渠化の請願―採択
- 公立小・中教職員住宅の請願―一部採択



おことわり

四月十五日に行なわれました区議会議員の選挙のため創刊号の発行を遅らせましたので、ご了承願います。

- 中川小学童擁護員増員の請願―採択
- 教職員精密健康診断実施の請願―不採択
- 教職員教育研究用需用費増額の請願―不採択
- 超過勤務手当支給の請願―不採択
- 産休、休職等以外の一般長期欠勤教職員の補助員確保の請願―不採択
- 綾瀬一丁目三四二番地先区道認定の請願―採択
- 大谷田小校舎改築の請願―採択
- 本木小プール設置の陳情―採択